

(様式第4号)

第5回 塩田地域協議会 会議概要

1 審議会名	塩田地域協議会
2 日時	令和元年11月21日(木)午後1時30分から午後3時まで
3 会場	塩田解放会館(塩田公民館)小ホール
4 出席者	山極 一雄 会長、山部 健壽 副会長 浅川 司 委員、阿部 ふさ子 委員、荒川 玲子 委員、安藤 健二 委員、 伊藤 準一 委員、神津 和夫 委員、小林 寿美男 委員、竹内 弘子 委員、 龍野 藤人 委員、中村 佳津枝 委員、早坂 みどり 委員、 宮澤 郁夫 委員、若林 ひとみ 委員 (欠席者)尾崎 孝子 委員、工藤 勇 委員、工藤 れい子 委員、 坂田 忠則 委員、林 千尋 委員
5 市側出席者	上田市 塩田地域自治センター 小林 弘明 塩田地域自治センター長、酒井 重雄 塩田地域振興政策幹、 池田 昌彦 庶務企画係長、岩倉 光男 主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	無 記者 無
8 会議概要作成年月日	令和元年11月28日

協 議 事 項 等

1 開 会(副会長)
2 あいさつ(会長)
3 報告事項 (1) 地域協議会の見直し(案)について 前回の地域協議会終了後に提出した意見書について事務局より報告
4 諮問事項 (1) 第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画「地域の特性と発展の方向性検証シート」の見直しについて 事務局より説明後、予定時刻まで質疑を行う。 (会長) 検証シートにある発展の方向性が7項目、取組の内容が7項目、視点・要素がいくつかあるがこれに必要な項目を加え不要な項目を削除する、あるいは項目の内容を訂正加筆するということを行うということでもいいか。 (事務局) そのようにお願いしたい。 (会長) これから毎月検討するとして、今月は地域の特性と発展の方向性、取組の内容の、12月は取組の内容の、1月は取組の内容の、2月は全体をまとめて答申案を作成、3月に答申案についての修正や意見を出すというスケジュールでお願いしたい。まずは地域の特性について5項目あるがこれについて御意見を伺いたい。 (委員) 検証シートはインターネット等で市民が見られるようにするのか。

(事務局) 検証シート全体を公表するのではなく、最終的に公表するのは地域の特性と発展の方向性、取組の内容、視点・要素が公表される。

(委員) この地域協議会で話し合った内容を、上田市へ意見具申するということはあるのか。

(事務局) 答申の内容には含まれない。

(委員) 答申の内容は手を加えて大幅に変更されることはあるのか。

(事務局) それはない。

(委員) 上田市の担当課が9つの地域協議会の意見をまとめて、パブリックコメントを募集するということはあるのか。

(事務局) 答申の内容についてパブリックコメントは実施しない。

(委員) 塩田地域協議会は第7期で終わるという案が先日市民参加・協働推進課から示されており、じきになくなるかもしれない組織の委員は地域の将来に責任を持ってない。これから地域を担う住民自治組織との兼ね合いもある。これからの地域づくりは上田市と住民自治組織の棲み分けが必要になる。このような状況の中、地域のこれからの地域協議会で決めてしまっているのか。

(委員) 地域協議会は市政に対する諮問機関であり、上田市から諮問があれば答申しなければならない。現在ほかに塩田地域に諮問機関がない以上、塩田地域協議会で答申を行うのは仕方がないのではないのか。

(委員) 委員個人で考えて意見を言えばいいのか。

(委員) そういうことでいいのではないのか。

(事務局) そのような姿勢で御審議をお願いしたい。

(委員) 「生かされ」という漢字の表記は、「活かされ」の方がいい。

(事務局) 漢字や字句、送り仮名については統一を図っていたが、地域協議会が扱った部分については定かではないので、このように意見を出していただければありがたい。

(委員) 発展の方向性「6 生涯学習活動の活性化いより、個性溢れる地域文化を育成します」は「活性化により」の誤字ではないか。

(事務局) 誤字なので訂正する。

(委員) 地域の特性「1 重要な観光資源である別所温泉と多くの史跡・文化財の集積」に別所温泉が出てきているが、取組の内容の「地域特性を生かした観光振興」には別所温泉という字句は出てこない。別所温泉と観光を結びつける文面は必要ではないか。具体的にどこに入れるとなると悩ましいが、視点・要素の2番目「塩田平のため池群を活用した誘客・交流事業の推進」には、活用した誘客とあり温泉も誘客なのでここに結びつくかと考える。あるいは「観光ボランティアの育成、体験交流の受け入れ等、官民一体

となった観光誘客の体制づくり」とも考えられる。いずれにしるどこに入れてもいいかは難しい。

(事務局) 別所温泉という字句が省略されている可能性もあるが、こうして議論になるのであれば誰が見てもわかるように入れておいた方が望ましいと考える。

(委員) 発展の方向性の7項目は取組の内容の から に連動している。発展の方向性「1 貴重な資源と貴重な財産を見つめ直し、生かします。」に観光という字句は出てこない。取組の内容の に「地域特性を生かした観光振興」とはっきり観光と書いてある。同じことを言っているのだろうがわかりにくい。「生かします」も観光振興に活かすということだろうから、観光という文字を、発展の方向性の1に明記してもらいたい。

(委員) 観光と誘客には温泉とため池だけではなく、神社仏閣も入る。

(事務局) 取組の内容「 地域特性を生かした観光資源」の視点・要素の1番目「史跡や文化財を結ぶ道路・遊歩道の整備等、観光ルートの整備を促進」に文化財は入っているのだからこれで対応できるが、入れた方がわかりやすいのであれば修正する。

(委員) 取組の内容「 地域特性を生かした観光資源」の視点・要素の1番目「史跡や文化財を結ぶ道路・遊歩道の整備等、観光ルートの整備を促進」は整備、2番目は「塩田平のため池群を活用した誘客・交流事業の推進」は誘客、と内容が違う。3番目は「観光ボランティアの育成、体験交流の受け入れ等、官民一体となった観光誘客の体制づくり」となっている。そうするとさっきの別所温泉の字句を入れるとすると2番目になる。

(事務局) 地域の特性「1 重要な観光資源である別所温泉と多くの史跡・文化財の集積」に別所温泉という字句があるのに、取組の内容や視点・要素には別所温泉という字句が消えているのは確かにおかしい。

(委員) 取組の内容「 地域特性を生かした観光資源」の視点・要素の2番目「塩田平のため池群を活用した誘客・交流事業の推進」に、別所温泉だけでなく神社仏閣や文化財といった他の字句も入れるようお願いしたい。

(委員) 別所はまず温泉があって、それから史跡・文化財があって、ため池はちょっと違う。ただ塩田全体を思えばため池も十分含まれる。

(委員) この検証シートを作った時を想像すると、温泉や神社仏閣がある地域はある程度存在するがため池がある地域は珍しいので、塩田の特色であるため池を前面に出した可能性はある。

(委員) 全国ため池フォーラムを誘致するために、あえてこの「塩田平のため池群を活用した誘客・交流事業の推進」という文言にした記憶がある。来年に全国ため池フォーラムの誘致が決まっており、ため池が誘客の主役になりつつあるので、これについてはある程度達成していると言っていい。

(委員) 塩田平のため池群というのは、地域の特性の「2 塩田平のため池群に代表される美しい田園風景」に出てくるので、こちらに集約した方がいい。誘客交流だったら別所温泉の誘客交流を視点・要素の2番目に入れて、ため池については取組の内容「 史跡・文化財の保全と次世代への継承に向けた取組の推進」に含めた方がいい

(委員) 取組の内容「 地域特性を生かした観光資源」の視点・要素の2番目「塩田平のため池群を活用した誘客・交流事業の推進」に全部入れてもいい。

(事務局) 文言を考えて全部入れるようにする。

(委員) 地域の特性「5 観光にも生かされ、地域住民の貴重な足でもある別所線電車」とあるが、台風19号による別所線の被害について触れる必要はあるか。

(委員) この検証シートの内容による計画開始は令和3年からだから、始まるころには決着しているかもしれない。

(委員) 発展の方向性「6 生涯学習活動の活性化により、個性溢れる地域文化を育成します。」と取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」が対応していない。また「個性溢れる地域文化」とはあいまいな表現なので、取組の内容の「健康で文化的な生活」を活かしながら、視点・要素の3番目「子育て支援、青少年育成に向けた地域の体制づくりと環境整備の推進」に「健康で文化的な生活」や次世代の健全育成に向けた活動の推進という字句を入れれば「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の取組内容がはっきりするし、発展の方向性「6 生涯学習活動の活性化により、個性溢れる地域文化を育成します。」もそのように修正されたらはっきりする。

(委員) 取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の視点・要素の3つ「公民館を中心とした生涯学習活動の充実に向けた環境整備の推進」「統合型スポーツクラブ等との連携を通じたスポーツによる健康づくりの推進」「子育て支援、青少年育成に向けた地域の体制づくりと環境整備の推進」ではなかなか「個性溢れる地域文化」を文面に表し切れておらず、地域の活動を紹介しているだけになっている。「個性溢れる地域文化」を表すには違う表現が必要だ。

(委員) 確かに、健康で文化的な生活や次世代の健全育成に向けた活動の推進の方がいい。そのように修正をお願いしたい。

(委員) 取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の視点・要素の2番目に「統合型スポーツクラブ」とあるが、文科省では「総合型地域スポーツクラブ」という呼び方をしているので、文科省の呼び方に統一してもらいたい。また、取組の内容「 健康で文化的な生活の実現に向けた活動の推進」の視点・要素の2番目「統合型スポーツクラブ等との連携を通じたスポーツによる健康づくりの推進」の進捗状況にある「スポーツ指導員」はおそらくスポーツ推進委員のことだと思われるので、修正してもらいたい。

(委員) 塩田まちづくり計画と検証シートがある程度関連していなければまずいのではないか。

(事務局) できる限り塩田まちづくり計画の内容を検証シートに反映させていただければありがたい。

(委員) 検証シートは上田市の計画で、塩田まちづくり計画は住民自治組織である塩田まちづくり協議会の計画であり、作った主体は全く違う。上田市の計画は行政の計画なので方向性だけで具体的な内容は書いてないが、塩田まちづくり計画は具体的な内容が細かく書いてある。両方で全く違う内容というわけにはいかないが、検証シートに塩田まちづくり計画のように具体的な内容を細かく書くわけにはいかないのではないか。

(事務局) おっしゃるとおり、そのようにお願いしたい。

(委員) 発展の方向性「3 自然環境の保全とかんがい施設の整備を促進します。」と取組内容「緑農ゾーンの整備促進」の内容があっていない。「緑農ゾーン」自然環境と農村整備の両方を言っているのか

(事務局) 調べて回答する。

(委員) 地域の特性「4 大学・研究施設と企業の集積」について、前期まちづくり計画を作った時長野大学は私立だったが現在は市立になった。今度は我々が税金を払って維持していく大学になったので、塩田地域だけの話ではなくなったが、どういう公立大学を目指すかをどこかで示してもらいたい。長野大学の立地を生かして連携するのは構わないが、現在のやり方を続けているだけではいずれなくなってしまう大学だと考えているので、これからの長野大学の方向性を示しておくのも塩田地域にとって大事なことだ。どこかで検討しているだろうが学部は今のところ変わっていない、これから就職といった形で結果が出てくるだろうが、そういう時になってだんだん下火になっていく大学では困る。上田市としてどういうビジョンを持った公立大学を作るのかということは大切なことだ。ただ塩田地域で取り上げるのがいいかはわからない。例えば発展の方向性に入れるのであれば、大学と連携するというスタンスではなくて、地域に貢献する公立大学を目指すという意味合いのある字句が必要ではないか。

(委員) 前期まちづくり計画の時と違って、後期まちづくり計画時点の長野大学は市の施設なのだから、長野大学の目指す方向として地域に貢献する公立大学を目指すとは明記することはおかしくない。塩田地域だけのものではないが、塩田地域として掲載してもおかしくない。

(委員) 現在は社会福祉学部、環境ツーリズム学部、企業情報学部があるが、どういう人材を育成して将来的にこうしたい、といった上田市の方針があれば、それを活かした地域づくりが塩田の地域の特性と発展の方向性になる。全体像である上田市の方針を知りたい。

(委員) 塩田の地域の特性と発展の方向性としてこの検証シートに記載するのがいいかは別として、長野大学のこれからのことについて第二次上田市総合計画の後期まちづくり計画で触れていればいい。

(事務局) 長野大学については前期まちづくり計画の中に特に記載されていないが、公立大学になって間もないので上田市として後期まちづくり計画の中に新たに位置づける可能性がある。調べて回答する。塩田地域として長野大学に触れた方がいいということであれば検証シートに掲載する。

残りは次回継続審議とする。

5 その他

次回の塩田地域協議会は12月19日(火曜日)午後3時から開催とする。

6 閉会(副会長)